

メリハリある日本向けの音が 2000円台で買える衝撃!

日本人のサウンドエキスパートが音質を監修するブランド「3ee(スリー)」。「Lambda 01(ラムダ・ゼロワン)」は、その音を皆さんに体感していただきたく、徹底的にコストパフォーマンスを追求したネックバンド型。ぜひご一聴あれ!

文/折原一也 Kazuya Orihara
写真/阿部良寛

Bluetoothイヤホン

3ee Lambda 01

(ラムダ・ゼロワン)

¥OPEN ▶投票 No.118

SPEC ●通信方式: Bluetooth Ver.5.0 ●対応コーデック: SBC, AAC ●ドライバー口径: 10mm ●連続再生時間: 最大10時間 ●ケーブルの長さ: 約0.7m(編集部調べ) ●質量: 約17.6g(編集部調べ) ●付属品: イヤーチップ(S/M/L)、USB Type-C充電用ケーブル

Color



ダークグレー ブラック



コスパ大賞

金賞

Bluetoothインナーイヤー型
ヘッドホン(5千円未満)



CHECK

落とす心配なし!
磁石でくっつく

CHECK

再生は最大10時間
急速充電もできる

CHECK

いい音の秘密は
グラフェンコート

グラフェンコート
ドライバー



振動板には「剛性」が大切だが、Lambda 01には高硬度の炭素素材「グラフェン」で振動板表面をコーティングすることで高剛性を確保。高音質再生を実現している。

コスパ大賞も納得!これは掘り出し物だ

実勢価格で税込2,860円という低価格帯に投入された「3ee」のBluetoothイヤホン「Lambda 01」が、「VGP2021 SUMMER」でお手頃価格でハイクオリティな商品を発掘する目的で設定されている「コスパ大賞」に輝いた。そもそも3eeは業界歴30年を超えるエンジニアが立ち上げた日本向けのブランドで、ファッションブランドともコラボする注目メーカーである。Lambda 01はそんな3eeの生産力を物語るコスト管理を徹底した意欲作だ。スタイルはネックバンド型。バッテリーを別筐体にしたためイヤホン部は非常にコンパクトだ。装着性も軽快で、絡みにくいフラットケーブルはスライダーで纏められて取り回しもよい。操作ガイドランスは日本語音声で安心感も十分。

それら以上に最大の評価ポイントは、その巧みな音質チューニングにある。サウンドに関わるドライバーユニットは2000円台のプライスながらも、10mm口径のグラフェンコート・ドライバーを奢る音質重視の設計だ。YOASOBI『夜に駆ける』を聴くと、女性ボーカルの歌声をニュアンスまで伝える解像度感と、音数が豊富で高域まで伸びるリッチなサウンドが印象的。実に聴き応え抜群だ。ベースの重低音もパワーと情報量を伴った表現。こんな音楽に没入して愉しめるサウンドが、お手頃価格で手に入るのには驚きだ。

2000円台の機種とはとても思えない充実した機能と音質が揃ったLambda 01。これこそまさに「掘り出し物」と呼べるイヤホンだ。